

名栗小学校だより



なぐり

名栗を愛し、自分を愛し、明るく元気に生きる児童の育成

学校教育目標

児童数

かしこく

男 25名

やさしく

女 13名

たくましく

計 38名

令和5年4月10日 第1号

## 「子どもがありのままの自分でいられる学校」

## 「多様性を尊重し、一人一人を大切に作る学校」を引き続き目指していきます。

すみれ、はこべ、ほとけのざ、なずな、たんぽぽ、ひめおどりこ草など、野の花がひっそりと大地を彩る季節が今年もやってまいりました。お子様のご入学、ご進級を心よりお慶び申し上げます。

今日、始業式、入学式を迎え、令和5年度の始まりです。新1年生6名と転入生2名を迎え、全校児童38名でのスタートです。私は名栗小学校4年目となりました。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校では、今年度も上に示した学校像を目指していきます。野の花が様々であるように、学校には、様々な個性や特性をもった子どもがいて、温かく触れ合うことで社会へ出ていくための大切な力を培います。私たち名栗小学校の職員は、どの子ども大切にしながら、その子の輝きを見つけ、皆が安心できる居場所をつくり、温かい関係づくりをしていきたいと願っています。そこには保護者の皆様、地域の皆様のお力添えが不可欠です。すでにいろいろなどころで助けていただいておりますが、今後もどうぞよろしくお願いいたします。

## 「名栗小 よい子のきまり」をなくすことにしました。

毎年配布していた「よい子のきまり」を、今年度からやめることにしました。一方で「多様性を尊重する」と言いながら、もう一方では子どもに強制したり強要したりしているようで、以前から何とかしたいと考えていました。大勢の子どもを十把一絡げにして、「～しなくてはいけない」、「～してはいけない」とすることは、あきらかに目指す学校像と矛盾しています。毎年、検討を続けてきましたが、今年度は先生たちの合意を得ることができました。

もちろん、「きまり」をなくしたからといって「何でもあり」というわけではありません。学校では今まで通りに子どもたちに伝えていきます。クラスごとに内容が違ってくこともあるかもしれません。ですが、学校や担任には必要性を説明する義務が生じます。「きまりだから」と、逃げることはできません。また、「きまり」に対して疑問や不満を持っている保護者の方は、後ろめたさを感じることなく「それはおかしいのでは？」と意見を述べるできるようになります。そこが大切なのではないでしょうか。それぞれが子どものためによかれと思ってすることであっても、皆同じようには考えません。「どうするのが一番いいのかな？」と話し合う機会があることが重要だと考えます。よりよい学校がよりよい子どもを育むことができるよう、保護者の方々や地域の方々の考えをぜひお聞かせください。

### ○令和4年度末人事異動

～お世話になりました～

教頭 松尾みのぶ  
教諭 西川美恵子  
教諭 林貴美子  
教諭 吉田慶次郎  
教諭 飯田紀子  
学習支援員 吉川真由美

美杉台中学校へ  
原市場小学校へ  
飯能第二小学校へ  
川越市立霞が関西小学校へ  
飯能第一小学校へ  
富士見小学校へ



